

### 第 3 章 印西市の環境目標

#### 3-1 印西市が目指す将来環境像（検討資料）

##### 1 第 3 次印西市環境基本計画の将来環境像の設定について

第 3 次印西市環境基本計画における望ましい将来環境像については、以下の点を踏まえて設定します。

- (1) 総合計画による位置づけ
- (2) 印西市環境基本条例の基本理念
- (3) 市民意識調査の結果
  - ① 市が取り組むべき環境施策について
  - ② 環境への満足度及び環境の保全・対策の重要度について
- (4) 第 2 次印西市環境基本計画の将来環境像



##### (1) 総合計画による位置づけ

印西市総合計画では、将来都市像を実現するためのまちづくりの方向性を示す政策の一つとして、「自然と都市が調和する快適で人にやさしいまち【まちづくり・生活環境】」が掲げられています。

##### 印西市総合計画 基本構想 第 3 章 まちづくりの基本的な方針（抜粋）

道路や水道、公園などの生活インフラは、日常生活の快適性、利便性などを支える重要な要素となります。市民が安全・安心に施設などを利用し続けられるよう、施設の維持管理、老朽化への対策など、施設の適切な保全を図るとともに、暮らしの利便性向上が図れる機能的な土地利用を誘導していく必要があります。さらに、今後、高齢化が進行していく中で、主要な移動手段となることが予想される公共交通については、各駅圏や集落などを接続する利便性の高い交通ネットワークが望まれています。このため、経済の活性化、暮らしの利便性・安全性のさらなる向上に向け、公共交通及び市街地の整備を進め、快適で機能性の高いまちをつくります。

また、市街地周辺においては、住宅開発などによる都市化が進み、農地や山林、樹林地などが減少傾向にあります。豊かな自然環境の保全、生活環境の美化などを推進し、市の財産として後世に引き継いでいくための取組を進めるとともに、近年の異常気象の原因と考えられている地球温暖化への対策などについて、市民、各種団体、事業者、行政などがそれぞれの役割のもとで連携し、資源循環型社会の構築を目指した、環境や人にやさしいまちをつくります。

- ◆要素：自然と都市が調和する快適で人にやさしいまち
  - 経済の活性化、暮らしの利便性・安全性のさらなる向上
  - 快適で機能性の高いまち
  - 豊かな自然環境の保全、生活環境の美化
  - 市民、各種団体、事業者、行政の連携
  - 資源循環型社会の構築
  - 環境や人にやさしいまち

## (2) 印西市環境基本条例の基本理念

環境基本計画は、「印西市環境基本条例」に基づき、印西市の良好な環境づくりに向けての基本的な考え方、目標及び達成手段を示し、市の個別計画や事業などと相互連携しながら、施策を展開していくことを目的として策定します。

### 印西市環境基本条例（抜粋）

#### （基本理念）

第3条 環境の保全は、現在及び将来の市民が健全で良好な環境の恵みを受けられ、その環境が将来にわたって維持されるよう適切に行われなければならない。

2 環境の保全は、社会経済活動その他の活動による環境への負荷をできる限り低減することその他の環境の保全に関する行動がすべての者の公平な役割分担のもとに自主的かつ積極的に行われるようになることによって、健全で恵み豊かな環境を維持しつつ、持続的に発展することができる社会の構築を旨とし、環境の保全上の支障を未然に防止するよう行われなければならない。

3 環境の保全は、環境の自然的構成要素が良好な状態に保持され、生物の多様性が確保され、及び人と自然が共生できるよう多様な自然環境が体系的に保全されることにより、地域の自然、文化、産業等の調和のとれた快適な環境を実現していくよう行われなければならない。

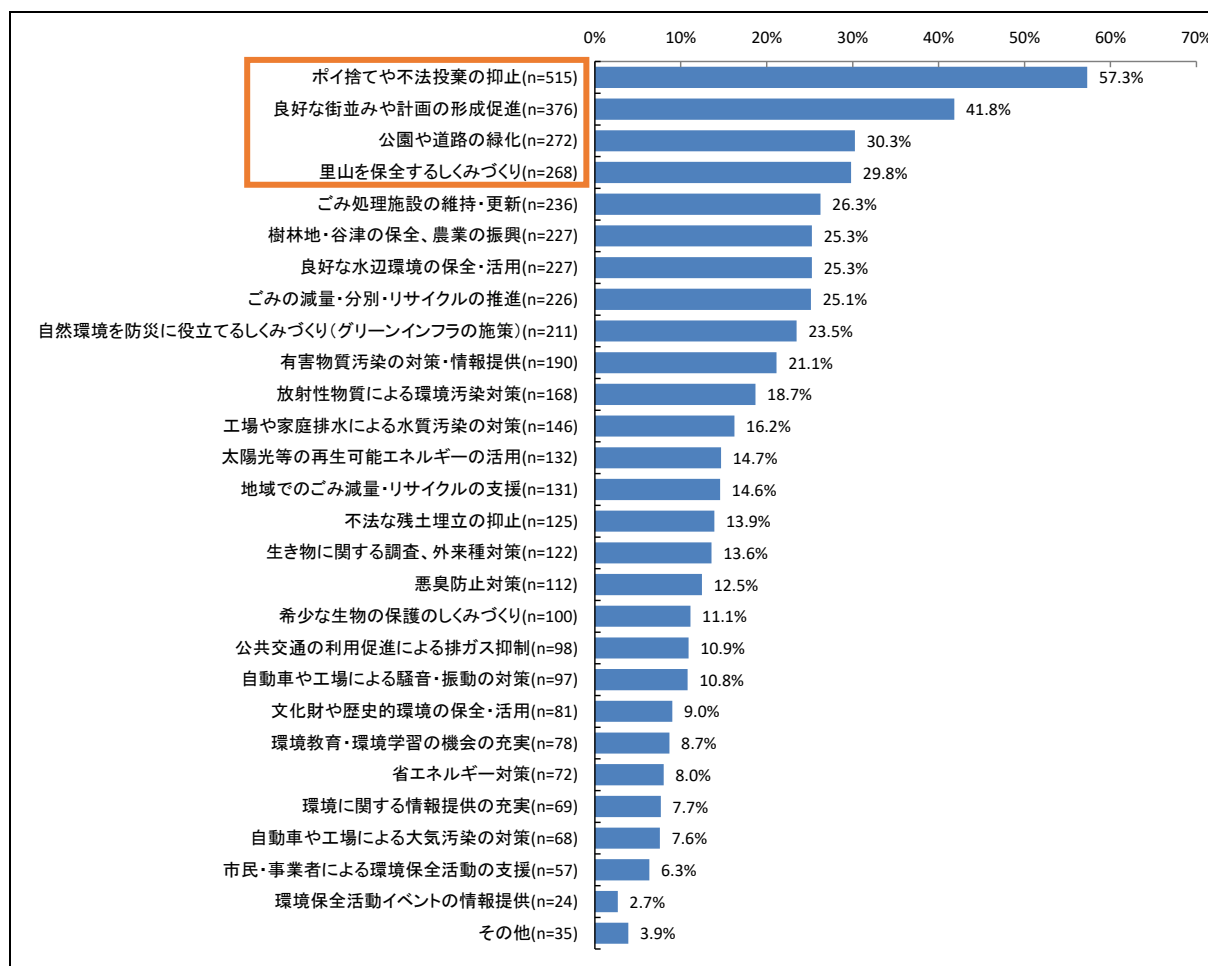
4 地球環境保全は、地域の特性を活かして、国際協力の見地から積極的に推進されなければならない。

- ◆要素：現在及び将来の市民が健全で良好な関係の恵みを受けられる環境
  - 環境を将来にわたって維持
  - すべての者の公平な役割分担
  - 持続的に発展することができる社会の構築
  - 地球環境保全は、地域の特性を活かして、国際協力の見地から積極的に推進

### (3) 市民意識調査の結果

#### ① 市が取り組むべき環境施策について

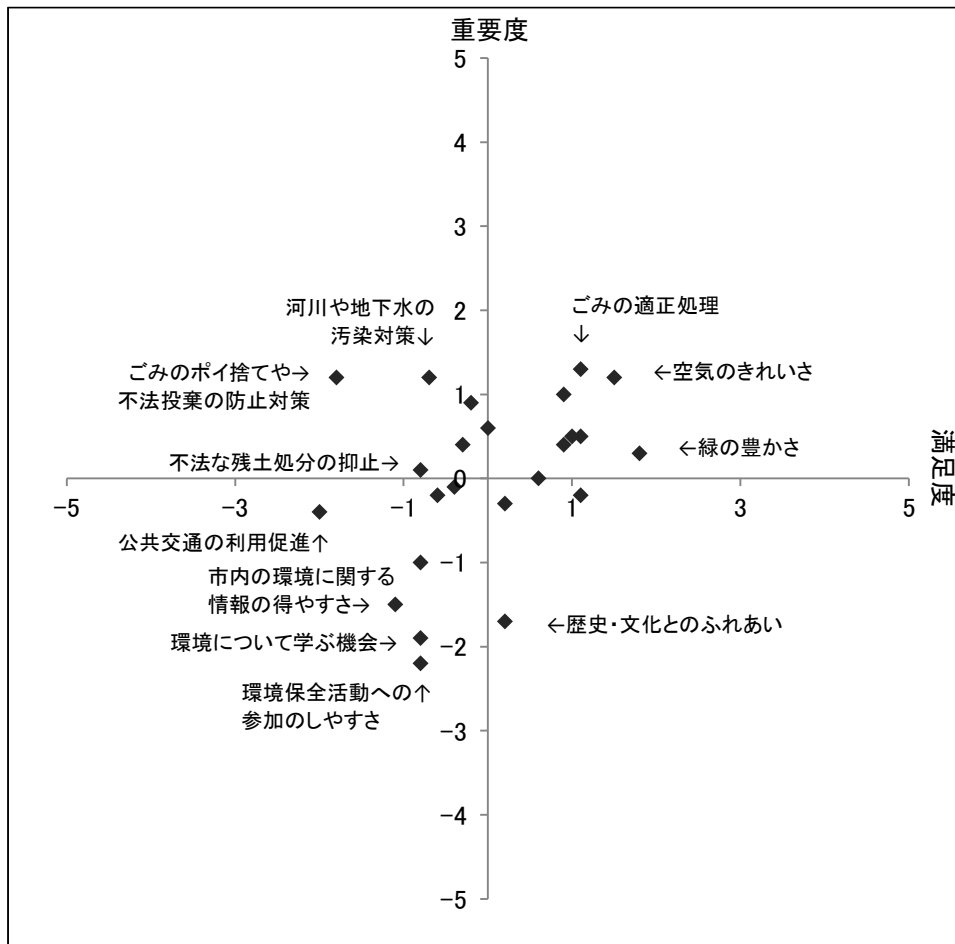
市民意識調査の結果では、印西市が取り組むべき環境施策のうち、今後特に力を入れてほしいと考える施策として、「ポイ捨てや不法投棄の抑止」、「良好な街並みや計画の形成促進」が多く挙げられました。次いで、「公園や道路の緑化」、「里山を保全するしくみづくり」が多く挙げられました。



- ◆要素：ポイ捨てや不法投棄の抑止
- 良好な街並みや計画の形成促進
- 公園や道路の緑化
- 里山を保全するしくみづくり

② 環境への満足度及び環境の保全・対策の重要度について

市民の意識調査では、環境への満足度、環境の保全・対策の重要度がともに高い項目として、「ごみの適正処理」、「空気のきれいさ」が挙げられました。また、環境への満足度が低く、環境の保全・対策の重要度が高い項目として、「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」、「河川や地下水の汚染対策」が挙げられました。



- ◆要素：自然の緑地や水辺の保護・保全
- 空気のきれいさ
- ごみの適正処理
- ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策
- 河川や地下水の汚染対策

#### (4) 第2次印西市環境基本計画の将来環境像

##### 第2次印西市環境基本計画の将来都市像

「ひと まち 自然」が調和し  
豊かで安心できる環境で暮らせるまち いんざい

##### 第2次環境基本計画 第5章 印西市の環境目標（抜粋）

印西市は、千葉県でも水辺環境に恵まれている地域であるとともに、歴史文化財に恵まれ、樹林地や農地、公園等の緑が多く残る「人々のやすらぎの場」、「生きものの生息・生育空間」が保たれた地域です。

加えて、千葉ニュータウンに代表されるように機能的・先進的な地域を持つまちでもあります。

(中略)

印西市の将来に向けては、都市と自然、そして市民とまちにおける生活のすべてが調和していく社会を構築していく事が必要不可欠です。

しかしながら、個別の環境課題を見ても、豊かな自然が評価されたり、都市としての快適性や利便性が評価される一方で、都市と自然の調和について課題が残っていたり、市民や事業者の現段階での環境保全に対する意識や取り組み状況に多様な考え方の違いやレベルの差が見られたりするなど、真に豊かで快適で、安心できる環境づくりに向けた課題は多く残されています。

このことから、印西市は、『ひと まち 自然』が調和し 豊かで安心できる環境で暮らせるまち いんざい』を、印西市環境基本計画における目指す将来環境像とし、市民・事業者・市の三者協働により、この将来環境像に向けた取り組みを行うこととします。

#### ◆要素：水辺環境に恵まれている地域

歴史文化財に恵まれ

樹林地や農地、公園等の緑が多く残る

機能的・先進的な地域を持つまち

都市と自然、そして市民とまちにおける生活のすべてが調和

市民・事業者・市の三者協働

## 2 第3次印西市環境基本計画の将来都市像（案）

各項目から抽出した要素から、将来環境像のキーワードを整理しました。

### 【各項目から抽出した要素】

◆自然と都市が調和する快適で人にやさしいまち ◆経済の活性化、暮らしの利便性・安全性のさらなる向上 ◆快適で機能性の高いまち ◆豊かな自然環境の保全、生活環境の美化 ◆市民、各種団体、事業者、行政の連携 ◆資源循環型社会の構築 ◆環境や人にやさしいまち ◆現在及び将来の市民が健全で良好な関係の恵みを受けられる環境 ◆環境を将来にわたって維持 ◆すべての者の公平な役割分担 ◆持続的に発展することができる社会の構築 ◆地球環境保全は、地域の特性を活かして、国際協力の見地から積極的に推進 ◆ポイ捨てや不法投棄の抑止 ◆良好な街並みや計画の形成促進 ◆公園や道路の緑化 ◆里山を保全するしくみづくり ◆自然の緑地や水辺の保護・保全 ◆空気のきれいさ ◆ごみの適正処理 ◆ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策 ◆河川や地下水の汚染対策 ◆水辺環境に恵まれている地域 ◆歴史文化財に恵まれ ◆樹林地や農地、公園等の緑が多く残る ◆機能的・先進的な地域を持つまち ◆都市と自然、そして市民とまちにおける生活のすべてが調和 ◆市民・事業者・市の三者協働

### 将来環境像のキーワード

#### 【自然環境】

豊かな自然／里山の保全／樹林地／農地／恵まれた水辺／緑地や水辺の保護・保全／恵みを楽しむ／地域特性の活用／公園や道路の緑化／恵まれた歴史と文化／自然と都市の調和／良好な街並み

#### 【生活環境】

空気のきれいさ／河川や地下水の汚染対策

#### 【循環型社会】

生活環境の美化／ごみの適正処理／ごみのポイ捨てや不法投棄の防止／資源循環

#### 【脱炭素社会】

地球環境保全の国際協力／環境や人にやさしい

#### 【人づくり】

市民、各種団体、事業者、行政の連携・協働／公平な役割分担

#### 【その他・持続可能性（SDGs）】

快適で機能性の高い／利便性・安全性／機能的・先進的／経済の活性化／持続的な発展／環境の将来にわたる維持

印西市は、利根川、印旛沼、手賀沼などの恵まれた水辺や谷津を中心とした里地里山など、数多くの自然が大切に守られ、残されているまちです。また、千葉ニュータウン区域の宅地開発や企業進出などに伴い都市的機能を併せ持つ利便性の高いまちでもあります。

このような「都市と自然が調和した快適なまち」を持続しつつ、市民・事業者・行政が一体となって、さらに環境の面から「人と環境にやさしいまち」としても発展させていくという意味を込め、以下の将来環境像を提案します。

- ① みんなでつくる 自然と人々の暮らしが調和した 快適でやさしいまち いんざい
- ② みんなで担う 自然と人々の暮らしが調和した 快適でやさしいまち いんざい
- ③ 「ひと まち 自然」が調和した 快適でやさしいまち いんざい
- ④ 「ひと まち 自然」が調和した 持続的に発展するまち いんざい

キーワード	キーワードが意味する内容
みんなで作る みんなで担う	市民、各種団体、事業者、行政の連携 すべての者の公平な役割分担
自然と人々の暮らしが調和する 「ひと まち 自然」が調和する	都市と自然、そして市民とまちにおける生活の すべてが調和していく社会
快適でやさしいまち 持続的に発展するまち	環境負荷が少ない持続可能なまち